

R.I. 会長の先導に従って新会員を推薦した会員を認証するため、新会員推薦者のピンバッジを贈呈することにされました。このピンバッジは、デザイン的にも色彩的にも大変優れたものであります。今年度限りの限定版でありますので、皆様どうかこのピンバッジを取得されるようお祈りしております。

次に、会員増強に関する地区目標の説明をさせていただきます。

ロータリアンの数が、世界的には、先述の通り伸び悩んでいるだけですが、日本ではそれ以上に大変なことになっております。一時は12万人もいたロータリアンの数が今や10万人の大台を下回るようになってしまいました。世界的には国によっても違いますが微増という傾向にあるのですが、日本では大幅な減というのが実情であります。2650地区での過去最多の会員数は、1996年の6705人でありましたが、今年度7月1日期首の会員数は5099人となっており、全盛期に比べて1606人減（24%減）となっております。1999年-2000年度カルロ・ラビッツァ R.I. 会長は、ロータリーの衰退は既に始まっていると強い警鐘を鳴らされました。今から8年も前のことです。ロータリアンの数の増強は、伸び悩んでおりますが、ロータリーがおもいやりの運動である限りその衰退は許されるものではありません。ところで昨今は、地域社会に様々なボランティア団体が生まれています。こうした傾向は今後益々強まっていくものと思われれます。地域で奉仕をするためにはどうしてもロータリークラブに入会しなければならないという理屈はありません。ボランティア志向の強い人ならもっと手軽にボランティア団体に入って自己を磨くことが出来るようになったからです。そういう意味ではロータリーの会員増強は今後益々難しくなっていくのかも知れません。しかしロータリアンの皆様、決して希望を捨てないで下さい。ロータリーの独自性を発揮してください。ロータリーは単なるボランティアの集まりではありません。ロータリーの奉仕には心があり、高い倫理性があります。今やロータリーが一人でも多くの人達に奉仕活動を通じてロータリーの本質即ちおもいやりを理解してもらおうべき時代が到来しているのです。そうした心を理解する人達が地域社会に充ち溢れることによってロータリーの存在価値が大きくなり、ロータリーの基盤はいよいよ堅固となって、それがやがて会員増強の力となるのであります。我々ロータリアンは、地域社会の人々全員をロータリアンにしなくても必要なのは、ロータリーの心を伝えることにあります。それには、ロータリーに関する素養、研鑽等々が愈々必要となってきます。暫くは、会員の

数が増えないからといって矢鱈と騒ぐ必要はありません。これからは、質の間われる時代でありますから質の向上に励まなければなりません。

幸い今年度は、国際協議会で語られたこと特に四大奉仕の重要性が強調され、中でも職業奉仕の復権がなされたことを総括してみるとロータリーとは何かというロータリーの哲学を久々に語り合う年度であります。規定審議会で、\*標準ロータリークラブ定款の第4条綱領に続き第5条に新たに四大奉仕部門を含める件が加えられますのは、ロータリーに対する認識を大いに深めその認識のもとに、ロータリーの奉仕活動を実践して頂きたいためであり、またその年度でもあります。その是非はともかく中身を十分吟味するにはロータリーに関する地区レベルでの研修会や講演会を今迄以上に活発化することが必要でありましょう。勿論クラブレベルでの議論も大いに深めていただきたく思います。因みに R.I. では、クラブレベルでの研修の必要性を以前から強調しており、地区でもその実施を図るべく方策を検討中です。そのためのインフォーマルミーティングやクラブレベルでの研修会の時宜を得た開催は大いに力を発揮することになるでしょう。ついでながら、例会のより一層の充実も必要です。これは、私だけのうがった見方かもしれませんが、例のバーナード・ショーの「ロータリーはどこへ行く。昼食を食べに行く。」という揶揄が必ずしも当てはまらないことがないクラブもあるように思います。クラブのメンバー数にしても再検討し、必要のあるクラブには是正をはかっていただきたいと思います。奉仕活動をするのであれば少なくとも35~40名のアクティブなメンバーが必要であると思います。

クラブも10年経てば自動的に平均年齢が10歳上がります。クラブをいつまでもアクティブな状態に保っておくためには新会員の入会は必須のこととなります。従って、会員増強は必須のものでありますので、重ねて申しますが R.I. 会長のご要請と同様に当地区でも1クラブ1名の純増をお願いします。これは、アクティブなメンバー数を減らさないための方策であります。又、現在のロータリー加盟国数は、169ヶ国であります。国連の加盟国数は192ヶ国であります。これらのロータリーの存在しない国にロータリークラブを作り会員増強をはかっていくことも我々ロータリアンの責務であると思います。

※ 詳しくは各クラブ事務局に送付済の RI2007規定審議会決定報告書にある採択制定案07-29をご覧ください。